



特集

アイヌ民族と 共に生きる

■問合せ 健康福祉課 (☎ 74-3001)

洞爺湖町アイヌ

民族共生拠点施設

「ウトウラノ」

洞爺湖町アイヌ民族共生拠点施設「ウトウラノ」が4月1日にオープンしました。

この施設は、アイヌの人たちと地域の人たちがアイヌ民族について理解し、アイヌ文化や地域文化を継承するための活動拠点として、アイヌ政策推進交付金を活用して整備した施設です。愛称の「ウトウラノ」はアイヌ語で「共に、一緒に」を意味し、町内の小・中・高校生児童・生徒計403人による投票によって決定。アイヌ文化やアイヌの歴史を伝承していく施設となるよう思いを込めています。

施設内には、アイヌ民族の衣服、儀礼用具、民具類のレプリカを展示するコーナーやアイヌ教育に尽力した白井柳治郎氏の功績を紹介するコーナーが設けられています。

また、アイヌ民族の伝統的な先祖供養「カムイノミ・イ

アイヌ教育に一生を捧げた 白井柳治郎



白井柳治郎像（虻田小学校）

白井柳治郎は、アイヌの子どもたちの教育に力を注ぎ、アイヌ民族の社会的地位の向上に務めました。アイヌの子どもたちのために虻田実業補習を設立した小谷部全一郎と協力し、虻田第二尋常小学校を開校。アイヌの人々に寄り添い、教育者として生涯をささげた白井柳治郎は、旧虻田町名誉町民第1号となっています。

和 暦	年 齢	白井柳治郎 年譜
明治 15 年	0 歳	7 月 12 日 茨城県真壁郡関本町（現在の築西市）に生まれる。
明治 33 年	18 歳	4 月 東京帝国大学農科大学付属農業教員養成所入学 5 月 北海道旧土人救済会主催の小谷部全一郎の講演を聞き、アイヌ教育に一生を捧げることを決意する。
明治 34 年	19 歳	3 月 東京帝国大学農科大学付属農業教員養成所卒業 8 月 小谷部全一郎が計画した虻田学園の教師となるため、同氏とともに虻田に移住
明治 35 年	20 歳	5 月 虻田第二尋常小学校開校
明治 36 年	21 歳	3 月 虻田第二尋常小学校校長就任
明治 40 年	25 歳	伊達の大宮良と結婚
大正 10 年	39 歳	4 月 虻田第二尋常小学校閉校。虻田尋常高等小学校校長就任
大正 14 年	43 歳	元虻田第二尋常小学校へ通う坂を「白井坂」と命名し、記念の石碑建立。アイヌの人たちが、白井柳治郎のために住宅を建てる。
昭和 2 年	45 歳	国民教育奨励会よりペスタロッツ 100 年祭りに際し教育功労者として、ペスタロッツ銅像が贈られる。
昭和 8 年	51 歳	勲六等瑞宝章を受ける。
昭和 16 年	59 歳	5 月 31 日 虻田第二尋常小学校と虻田尋常高等小学校合わせて 40 年の教 教師生活に幕をおろす。 8 月 虻田町役場嘱託となり、町の町史編さん事務などに携わる。
昭和 19 年	62 歳	虻田小学校創立 60 周年にあたり、白井柳治郎頌徳碑が建立される。
昭和 33 年	76 歳	虻田小学校に、白井柳治郎胸像が建立される。
昭和 38 年	81 歳	虻田町名誉町民（第 1 号）の称号を贈られる。 勲五等双光旭日章を受ける。
昭和 39 年	82 歳	3 月 22 日 逝去（83 歳）
昭和 41 年	83 歳	4 月 1 日 内閣より位一級に追陞（ついしょう）される。

※年譜については、施設内の白井柳治郎紹介パネルより抜粋



チャルパー」を室内で行える設備（炬）も敷設されています。今後はアイヌ文化を継承するための活動として、アイヌ刺繍教室などのアイヌ文化を体験する講座や各種事業を展開する予定です。各団体の事業などでも利用することができまので、ぜひ活用してください。

「ウトウラノ」 i n f o m a t i o n m a p



調理室

小規模な料理教室ができるスペースとなっていて、アイヌ伝統料理教室などを開催するほか、各団体の事業などで利用できます。



会議室1・2

各団体や地域の人が、会議や研修などで利用することができます。会議室1と2の間は開閉式となっており、開放して利用することができます。



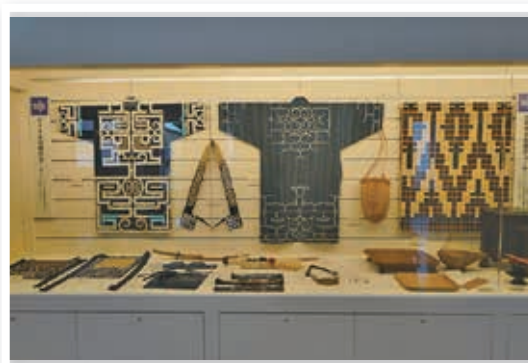
会議室1

会議室2

アイヌ文化・白井柳治郎展示コーナー

▶アイヌ文化展示コーナー

アイヌの伝統的な工芸技術を用いたアイヌ民族の衣服「ルウンペ」をはじめ、さまざまな儀礼用具や、民具などを展示しています。



◀白井柳治郎展示コーナー

アイヌ教育に一生を捧げた白井柳治郎氏の功績を紹介したパネルや白井日記をひもとく会より出版された「白井柳治郎日記」や実際に白井柳治郎氏が使用していた所蔵品を展示しています。

交流ホール

アイヌ民具類やアイヌ教育に一生を捧げた白井柳治郎氏の功績を紹介するコーナーを設け、アイヌ文化や歴史を身近に感じてもらうとともに、誰でも気軽に利用できるスペースです。

アイヌ研修室との間は開閉式となっていて、開放して利用することができます。

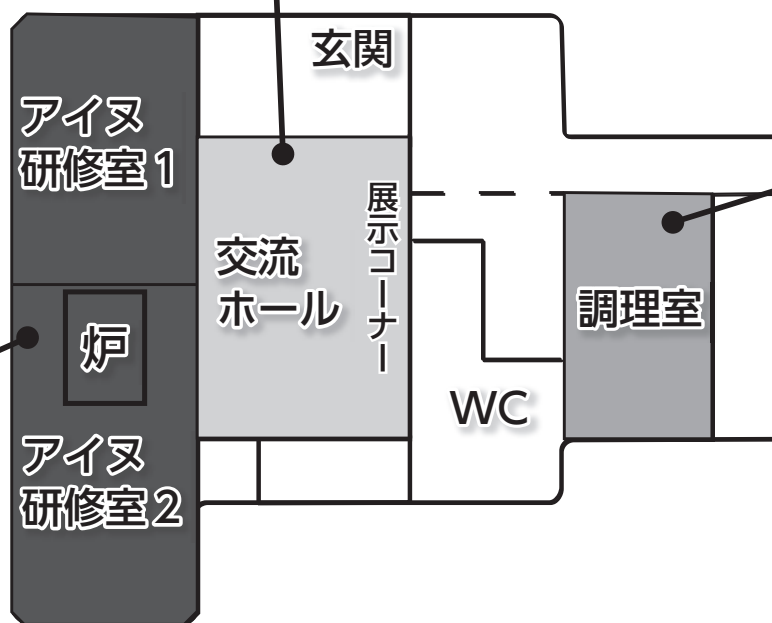


アイヌ研修室 1・2

アイヌ研修室 1・2

アイヌ民族の伝統的な先祖供養であるカムイノミ・イチャルパを室内で行える設備(炉)を敷設し、季節や天候に左右されることなく儀式を行える空間です。アイヌ文化を体験する教室なども開催します。

アイヌ研修室 1 と 2 の間は開閉式となっていて、開放して利用することができます。



アイヌ文化普及のために、

一生懸命頑張りたい

このような施設ができたことは素直にうれしく思います。オープンをきっかけに、アイヌ民族やアイヌの歴史を傳承していくための拠点として活用し、アイヌ文化の普及に役立てていきたいです。

今後は、アイヌ文様の刺しゅう教室や木彫り教室、伝統儀式の講習会などを開催し、町民の皆さんにも参加してもらいたい

アイヌ文化に触れてもらうことで興味を持ち、理解を深めてもらえるように協会として取り組んでいきたいと思っています。

さまざまな活動を通して、アイヌに対する偏見をなくしてもらい、アイヌの人たちが堂々と生きていけるような社会になるよう、私自身も一生懸命に頑張っていきたいです。



洞爺湖アイヌ協会
藤野満裕会長